

三方五湖有料道路リフレッシュ事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	道路建設課	課長名	平林 透	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R3 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営			経過年数					2 年			
補助率	10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題] 令和5年3月新幹線県内開業に向け、三方五湖有料道路について、現在、クラックの入った路面や傷んだガードレール等を再整備する必要がある。また、令和4年10月から県道となることから、必要な設備整備を行う必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 県道管理に必要な設備数 道路監視カメラ：設置数0/必要数2 積雪計：設置数0/必要数2 道路情報表示板：設置数0/必要数2						
[事業目的] 道路公社が管理する三方五湖有料道路を観光道路としてふさわしい路面状況や道路付属施設の更新を行い、来場者が通行しやすく、眺望を楽しめるよう再整備を行う。また、令和4年10月以降の県道管理に必要な設備整備を実施する。												
[事業内容] (1) 観光地につながる道路としての整備 ○道路舗装、区画線引き直し、ガードレール補修 ○伐木・街路樹帯整備 (2) 県道管理のための整備 ○道路舗装、区画線引き直し ○道路管理設備(道路監視カメラ、積雪計、道路情報表示板等) ○側溝補修 ○道路台帳補正												
[受益者] 梅丈岳山頂公園への来場者						[想定される受益者数] 93,000台(三方五湖有料道路通行台数R2実績)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 三方五湖エリア整備事業 (役割分担) ・道路、道路付属施設等の原状回復に関するもの、県道管理に必要な 設備整備は本事業 ・観光対策としてグレードアップを図るものは交流文化部事業				
市町との連携状況	(三方五湖有料道路) 観光施設の運営は、美浜町・若狭町の共同出資により設立された株式会社が実施					他県の状況						

三方五湖有料道路リフレッシュ事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	道路建設課	課長名	平林 透	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率	10/10											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	66,312		59,000	(諸) 7,312			0 法恩寺山・越前海岸有料道路 出資金・留保金の返還金					
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					44,416	66,312	県道に必要な設備整備を令和4年度に実施するため					
2月現計予算額の推移					44,416							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	区画線引き直し延長 (目標) 実績				(5) 5	(100)	(5)	(100)	令和4年度整備完了			
活動指標	事業進捗率 (目標) 実績				(25) 25	(100)	(25)	(100)				事業費割
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・視点場整備 3箇所設置 ・道路舗装補修 480m/1,400m実施 ・側溝補修 3箇所/6箇所実施 ・道路台帳整備 1式/1式実施 				<ul style="list-style-type: none"> ・道路舗装補修 残りの920m実施 ・側溝補修 残りの3箇所実施 ・令和4年10月から県道化されるため、9月までに県道管理に必要な設備整備を実施 				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

有料道路無料開放事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	道路建設課	課長名	平林 透	
事業主体	福井県道路公社				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助金											
補助率	10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 道路公社解散に伴う有料道路の無料開放に向け、不用となる建物の撤去や会計整理のために必要な資金が不足する。						[問題・課題を表す客観的データ] 県から公社への長期貸付金2,215,650千円が償還不能見込み 県・勝山市の出資金756,000千円のうち478,526千円が返還不能見込み						
[事業目的] 昭和49年に設立された福井県道路公社は、法恩寺山有料道路の料金徴収期間終了に伴い、令和4年9月末に解散予定である。公社の解散後、令和4年10月から清算団体となり、有料道事業で使用していた料金所等の建物撤去、物品の処分など清算に向けた作業を行うこととなるが、公社解散までに必要な資金を準備することができない見込である。このため、県から道路公社に対して不足する資金を補助金として交付することで、有料道路の無料開放に必要な清算作業を確実に円滑に進め、さらなる観光地の活性化を図る。												
[事業内容] (1) 三方五湖有料道路の不用物件撤去費の資金支援 ○料金所、給排水施設、案内看板等の撤去 (2) 三方五湖有料道路の運営資金の補助 ○令和4年度で赤字が見込まれる運営資金												
[受益者] 三方五湖有料道路、法恩寺山有料道路利用者						[想定される受益者数] 262,000台(三方五湖有料道路、法恩寺山有料道路R2通行台数実績)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	・法恩寺山有料道路の出資金の返還(勝山市) ・三方五湖有料道路の県道化後の道路や駐車場等の管理方法の検討(美浜町・若狭町)					他県の状況						

有料道路無料開放事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	道路建設課	課長名	平林 透	
事業主体	福井県道路公社				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助金											
補助率	10/10											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	103,206			(諸) 103,206		0 法恩寺山・越前海岸有料道路 出資金・留保金の返還金						
(単位：千円)												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移						103,206						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	(目標) 実績								道路公社の清算にかかる補助金であるため、数値目標は馴染まない			
活動指標	(目標) 実績											
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

法恩寺山有料道路出資金・越前海岸有料道路留保金返還

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	道路建設課	課長名	平林 透			
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度		
事業実施方法	直営													
補助率														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力) 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]]				関連する県の計画等		[]							
[解決すべき問題・課題] 道路公社解散に伴う出資金の返還						[問題・課題を表す客観的データ] ・法恩寺山有料道路について、県・勝山市の出資金756,000千円のうち135,406千円が県に返還 ・越前海岸有料道路について、留保金119,500千円が県に返還								
[事業目的] 令和4年9月末の道路公社解散に伴い、法恩寺山有料道路の出資金および越前海岸有料道路の留保金の返還を受ける。														
[事業内容] (1) 法恩寺山有料道路の出資金の返還 ○県の出資額648,000千円のうち135,406千円が道路公社から県に返還される。 (2) 越前海岸有料道路の留保金の返還 ○H3.4.1に無料開放した越前海岸有料道路の留保金119,500千円が県に返還される。														
[受益者]						[想定される受益者数]								
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況	法恩寺山有料道路の出資金の返還 (勝山市)					他県の状況								

法恩寺山有料道路出資金・越前海岸有料道路留保金返還

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	道路建設課	課長名	平林 透					
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務		事業 区 分	■ 実行予算		事業 開 始 年 度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度		
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率																
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等										
予算額	0			(諸) 144,388	△ 144,388	法恩寺山・越前海岸有料道路 出資金・留保金の返還金										
(単位：千円)																
区 分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由										
当初予算額の推移																
2月現計予算額の推移																
決算額の推移																
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠								
成果指標	(目標) 実績							道路公社の出資金・留保金を返還する事業のため、数値目標は馴染まない								
活動指標	(目標) 実績							道路公社の出資金・留保金を返還する事業のため、数値目標は馴染まない								
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価								
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了						
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						

国道417号整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	道路建設課	課長名	平林 透	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H29 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	国交付金											
補助率	国：58.85%	足羽川水源地域対策基金										
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(想像力)] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
(国) 417号は、第一次緊急輸送道路にも指定された重要な路線であるが、当区間は豪雪地帯であるにも関わらず急勾配・線形不良区間が連続し、円滑な交通に支障をきたしている。						現道区間6.1kmの内、1.8kmで道路勾配が7%以上 曲線半径50m以下の急カーブ箇所が17箇所 斜面防災対策必要箇所が8箇所						
[事業目的]												
当該区間のバイパスを整備することで安全で円滑な交通を確保する。												
[事業内容]												
急勾配・線形不良区間の道路改良 「全体計画」 ・延長：L=3,450m ・幅員：W=5.5(8.5)m ・事業費：96億円 ・事業期間：H29～R6年度												
[受益者] 国道417号利用者						[想定される受益者数] 1,500台/1日						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

国道417号整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	道路建設課	課長名	平林 透	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H29 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	国交付金											
補助率	国 : 58.85% 足羽川水源地域対策基金											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	1,800,000	1,059,300	740,000	(繰入) 700	0		社会資本整備交付金 1,059,300千円 足羽川水源地域対策基金 700千円					
(単位：千円)												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		600,000	1,100,000	1,300,000	900,000	1,800,000						
2月現計予算額の推移		780,000	1,000,000	2,050,000	1,000,000							
決算額の推移		270,000	367,600	520,000								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	供用延長 (目標)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(3,450)	(3,450)	R6年度の全線供用			
	実績	0	0	0								
活動指標	事業進捗率 (目標)	(11)	(15)	(30)	(51)	(72)	(100)	(100)	(当該年度までの事業費) / (全体事業費)			
	実績	7	20	41								
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
トンネル(池田工区) 令和2年度末時点で約900m掘削完了 トンネル(越前工区) 契約完了								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

国道476号整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	道路建設課	課長名	平林 透	
事業主体		県			事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法		国交付金										
補助率		国：58.85% 足羽川水源地域対策基金										
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [3 楽しみを広げる(想像力)] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]			関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 一般国道476号は、第一次緊急輸送路にも指定された重要な路線であるが、当区間は屈曲した狭隘区間であり、円滑な交通に支障をきたしており、近隣には迂回路となる道路がなく、事故や災害が発生すると南北交通が断絶する。						[問題・課題を表す客観的データ] 過去に災害により現道区間の通行止めが発生（H16福井豪雨、H23土砂崩れ）						
[事業目的] 当該区間のバイパスを整備することで安全で円滑な交通を確保する。												
[事業内容] 屈曲した狭隘区間の道路改良 「全体計画」 ・延長：L=928m ・幅員：W=6.0(9.0)m ・事業費：36億円 ・事業期間：H30～R7年度												
[受益者] 国道476号利用者						[想定される受益者数] 1,100台/1日						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

国道476号整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	道路建設課	課長名	平林 透	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H30 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R7 年度
事業実施方法	国交付金											
補助率	国 : 58.85% 足羽川水源地域対策基金											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	552,000	324,852	227,000	(繰入) 148	0	社会資本整備交付金 324,852千円 足羽川水源地域対策基金 148千円						
(単位：千円)												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		200,000	700,000	700,000	700,000	552,000						
2月現計予算額の推移		200,000	700,000	850,000	768,000							
決算額の推移		70,000	251,000	160,000								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	供用延長 (目標)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(928)	(928)	R7年度の全線供用			
	実績	0	0	0								
活動指標	事業進捗率 (目標)	(3)	(7)	(11)	(14)	(25)	(100)	(100)	(当該年度までの事業費) / (全体事業費)			
	実績	5	25	48								
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
トンネル坑口付近の流路工完成 仮橋完成								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

原子力災害制圧道路等整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	道路建設課		課長名	平林 透							
事業主体		県			事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	■ 実行予算	事業 開始 年度	H24 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度							
事業実施方法		電力事業者負担金																	
補助率		100%																	
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [4 安心を高める(地域力)] 政策 [16 防災・治安先進県ふくいの実現]			関連する県の計画等		[]												
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]													
幹線道路(国道27号)から原子力発電施設までのアクセス路が1本のみであり、近年の大雨等による土砂崩れ等により、通行止めなどの交通障害が発生し、交通の確保および通行の安全確保が課題となっていた。						現在事業中である舞鶴野原港高浜線において、現況の最小幅員6.7m、最小曲線半径15m、縦断勾配最大8.5%であり、安全で円滑な通行に支障をきたしている。また平成30年の土砂崩れにより、通行止めを含む約12ヶ月間の交通規制を行っている。													
[事業目的]																			
福島第一原発での事故を踏まえ、原発事故発生時の迅速な初動・事故制圧等を行うため、幹線道路から原発までの道路の多重化や現道の防災機能の強化を図り、県民の安全・安心を確保する。																			
[事業内容]																			
<p>(一) 竹波立石縄間線(敦賀市白木～浦底) : 交通不能解消 4.9km (新設)</p> <p>(主) 佐田竹波敦賀線(美浜町佐田～竹波) : バイパス 5.1km</p> <p>(一) 赤礁崎公園線(おおい町犬見～大島) : バイパス 3.4km</p> <p>(一) 音海中津海線(高浜町音海～小黒飯) : バイパス 1.6km</p> <p>(一) 竹波立石縄間線(敦賀市立石～敦賀原発) : バイパス 0.6km</p> <p>(主) 舞鶴野原港高浜線(高浜町神野～難波江) : 線形改良 2.5km</p>																			
[受益者]						[想定される受益者数]													
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)												
市町との連携状況						他県の状況	以下の県にて同様の事業を実施 ・佐賀県 県道 肥前呼子線 L=5.5km ・愛媛県 県道 鳥井喜木津線 L=0.7km												

原子力災害制圧道路等整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	道路建設課	課長名	平林 透					
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H24 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度		
事業実施方法	電力事業者負担金					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率	100%															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等										
予算額	355,000			(負担金) 355,000		0 電力事業者負担金 355,000千円										
(単位：千円)																
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移		9,455,000	6,935,000	327,000	310,000	355,000										
2月現計予算額の推移		9,455,000	6,935,000	327,000	310,000											
決算額の推移		9,783,300	5,872,000	147,000												
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	供用箇所数 (部分供用を含む)	(目標) (2)	(3)	(1)					各事業路線における供用開始時期を目標として設定							
		実績 2	3	1												
活動指標	トンネル工事着手数	(目標)							成果に至る取組として、主要構造物であるトンネル工事の着手数を設定							
		実績														
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価								
舞鶴野原港高浜線が一部供用(1.6km)を開始し、成果指標を達成した。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了						
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						